

5月のおすすめ本

色々な本を読んでみましょう

2014年5月8日
湘南学園中高図書室

「私立第二中学校2年C組」

榎月美智子[著]
講談社 913-ヤ

中学校2年C組の生徒ひとり1人の心理や状況に焦点を当てながら、それがまとまって学園生活の一日としてつづられた物語です。中学生らしい描写も多く、共感する部分が出てくると思います。また、この本は目次から面白い仕掛けとなっています。ぜひ手を取って読んでみてください。

「疾風のロンド」

東野圭吾[著]
実業之日本社 913-七

極秘裏に開発された生物兵器「K-55」。人々の大量死も可能な危険な兵器である。ところが、その生物兵器が盗まれた。犯人はその生物兵器「K-55」の開発者であったが、兵器の隠し場所を話すまもなく亡くなってしまった。兵器はどこに！先の読めない展開に、最後まではらはらします。

「キャット・アート」

シュー・ヤマモト[著]
求龍堂 726-ヤ

世界の名だたる名画に登場する登場人物をすべて猫にした画集。「ナポレオン」もここでは「ニャポレオン」に。元の名画を知っていれば、猫のかわいさと相まって、見ているだけで思わずくすっと笑ってしまいます。描写力も高く、たとえ元絵を知らなくても楽しめる画集です。

「レインツリーの国」

有川浩[著] 新潮社 913-ア

中学生の頃に読んだライトノベルの感想が書いてあるサイトを見つけた主人公は、その感想に共感。サイトの管理人であり難聴を抱える女性とメールをやりとりしながら交流することになる。難聴者と健聴者の恋愛は果たしてどうなる？

NHK-FMのラジオドラマ番組でラジオ化されました。

「ピエタ」

大島真寿美[著]
ポプラ社 913-オ

18世紀のヴェネチアが舞台。ピエタ慈善員で育てられた主人公エミリアは、幼なじみの依頼で、今は亡き修道院の音楽教師の遺品から一枚の楽譜を探したそうとするが……。亡き音楽家に関わった人々がまるで一つの曲のように次々現れます。楽譜はいったいどこに？

「魔女の宅急便」

角野栄子[著]
角川文庫 913-カ

ジブリで有名な「魔女の宅急便」の原作。13歳の魔女キキが、自分の家を離れ、魔女のいない初めての街にやってきた。相棒の黒猫ジジと宅配便をしながら、街の人たちに受け入れられるようになるまでの1年を描いた作品。2014年3月1日に、実写映画化しました。

「女子高生サヤカが学んだ 一万人に1人の勉強法」

美達大和ほか[著]
プレジデント社 159-ミ

無期懲役の刑を受けた知的すぎる囚人と、あるきっかけで手紙のやりとりをすることになった主人公。そこで、99.99%の人がやらない成功法則を教わることに。勉強法だけでなく、心のもちようも教えてくれます。一般では考えられないことを試してみませんか？

「チーム」

堂場瞬一[著]
実業之日本社 913-ト

箱根駅伝本戦出場を逃した大学の中から、予選で個人成績が良い選手を集めて作られた「学連選抜チーム」。究極のチームスポーツといわれる駅伝で、寄せ集めのチームである彼らは、いったい何のためにたすきを繋ぐのか？普段から一緒に苦しんでいない分、学連選抜チームは精神的にも大変なのです。

「スタバではグラndeを買え！」

吉本佳生[著]
ちくま文庫 337-ヨ

モノやサービスの値段はどうやって決まっているのか？有名コーヒー店(スタバ)の値段の仕組みや、他のお店の安さの秘密など、「値段が安くても大丈夫なの？」と思っていた仕組みを、わかりやすく説明してくれます。これであなたも経済学者！

「心を整える。」

長谷部誠[著]
幻冬舎 783-ハ

サッカー日本代表の長谷部選手が、自分の心を整えるために実践している習慣から、社会人として必要なことを学んで見ませんか？キャプテンを務めた長谷部選手ならではの習慣に、社会人だけでなく、皆さんにもためになる習慣があると思います。

「生協の白石さん」

白石昌則[著]
講談社 049-シ

東京農工大学生協工学部の職員である白石さんが、学生の質問書(ひとことカード)に対して粋な受け答えが評判になり、一冊の本になりました。

ユーモアを交えつつも、思わず納得させてくれる回答に、心がじんわりします。

「ぶたぶた図書館」

矢崎存美[著]
光文社 913-ヤ

『あなたのぬいぐるみは、真夜中の図書館で何をしているのかきになりませんか？』ぬいぐるみを預かり、夜の図書館での彼らの様子を撮影する企画をしていたとき、見た目は可愛いぶたのぬいぐるみ「ぶたぶた」が！

「13歳からの勉強ノート」

小野田博一[著]
PHP研究所 375-オ

この本は、中高生向けの「優等生になるための勉強法の本」です。勉強への意欲をかき立てる言葉や、どんな行動を取るべきかが書かれています。みんなに通用する勉強法ではないですが、がんばって勉強する子には参考になるかと思います。勉強がんばれ！

「花の描き方教室」

七崎ゆき[著]
誠文堂新光社 170-ミ

写生をするときや、趣味でスケッチするときなど、植物を上手に描けるようになりたい！と、一度は思ってみたことはありませんか？花や葉のつき方や形・構造がよくわかり、それが様々な角度から表されています。スケッチを楽しみましょう。

「フリーメイソン」

吉村正和[著]
河出書房新社 361-ヨ

「フリーメイソン」とはご存じですか？映画でも話題になった『ダ・ヴィンチ・コード』や『天使と悪魔』も、これをもとにしています。得体の知れない秘密結社というイメージを持っている方もいると思いますが、そんな不思議な市民結社を図説でわかりやすく教えてください。

「だまされる目 錯視のマジック」

竹内龍人[著]
誠文堂新光社 145-タ

「錯視」とは、目の錯覚のことです。この本には、目の錯覚がおきる絵や写真がいっぱい載っています。目は意外とだまされやすいもの。実際に読んで錯視を体験してみよう。

「放射能から ママと子どもを守る本」

野口邦和[著] 法研 493-ノ

福島第一原子力発電所の事故直後から、放射線の影響について憶測や根拠のない噂が流れました。そこで、正しい知識を身につけ、自分で判断できるように、生活に沿ったアドバイスをまとめたものがこの本です。一読して、正しい知識を身につけましょう。